



道祖土小 学校だより

校訓 明るく 仲よく たくましく

4月号 令和8年4月8日発行

〒336-0907
さいたま市緑区道祖土1-1-1
電話 048-885-2512
FAX 048-811-1328
Web <http://saido-e.saitama-city.ed.jp>
E-Mail saido-e@saitama-city.ed.jp

「『子どもが輝く学校』に向けて」

校長 荒木 大輔

春色の風が優しく木の葉を揺らし、私達に出会いと別れの季節を運んでくれました。そして、子どもたちにとって、新しい学校生活が幕を明けます。少し残念なのは、本日の始業式・入学式に、本校の校庭を彩る道祖土桜が満開ではないことなのですが、柔らかな春風に乗ってひらひらと舞う花びらが、子どもたちをパステルカラーで包み込んでくれているようでした。また、「さいどっ子花の会」の皆様が行ってくださった花の植替え作業のお陰で、本校の正門付近から2階昇降口に向かう「あいさつロード」が彩と輝きに包まれており、今年度の始業式・入学式を迎えた子どもたちを、笑顔で温かく見守ってくれています。お子様の御進級・御入学、誠におめでとうございます。心から、御祝い申し上げます。



本日の二つの式で歌われる本校の校歌に「輝け、道祖土小学校」という歌詞がありますが、春暖の光り輝く太陽のように、本校の子どもたちには、今年度もたくさん光り輝いてほしいです。

ところで、「子どもが輝く」とは、どのような様子のことを言うのでしょうか。例えば、「先生と子どもたちの、楽しい明るい声がたくさん聞こえてくる教室の中で、たくさんの仲間と囲まれながら、どの子も生き生きと学習に取り組んでいる」、「一人ひとりがめあてに向かって進んで学習し、自信をもって自分の考えを発表している」、「学ぶ喜びや友達と遊ぶ楽しさを知り、笑顔で満ち溢れている」、「学校のルールや集団生活のマナーをみんなできちんと守りながら、自ら進んでよりよいことを実践していく」、そんな様子や子どもの姿が挙げられるでしょう。

そのためには、教職員一人ひとりが、輝きに満ち溢れなければなりません。なぜなら、子どもが輝く学校を担うのは、本校の教職員だからです。そこで、今年も引き続き、「授業で勝負する教師」「一人ひとりのよさを認め、可能性を伸ばす教師」「高い規範意識と使命感・責任感をもった、信頼される教師」を目指し、本校を昨年度以上に「子どもが輝く学校」となるよう、全職員で力を合わせて教育活動に邁進してまいります。

今年の干支「午年」は、「丙午（ひのうま）」で、「新しい挑戦に光が差し、努力が実を結びやすい」とか「力強く前進できる」年だと言われています。これに便乗すると、道祖土小学校の子どもたちが、本校の学校教育目標（校訓）である「明るく」「仲よく」「たくましく」に向かって、これまで努力し、頑張ってきたことを生かしながら「どんどん、成長することができる」、そんな輝きに満ち溢れたよい年になるのではないかと思います、

ととても楽しみでなりません。まずは、今日から始まる令和8年度の教育課程を、確実に実践してまいります。

最後になりますが、令和8年度は、全校児童972名・35学級、全職員80名（給食調理員や嘱託職員等含む）でのスタートです。本校の教育活動に対し、保護者並びに地域の皆様方の御支援と御協力を賜りますよう、今年度もよろしくお願いいたします。

